

# きらら通信

こちら校長室



令和3年度

令和3年6月29日  
京都市立修学院小学校  
校長 村山 雅彦  
TEL: 075-781-4439

## 5年生 花背山の家宿泊学習

6月20に緊急事態宣言が解除となり、まん延防止等重点措置に移行してすぐの6月23日から24日にかけて5年生が花背山の家宿泊学習に行ってきました。

例年であれば3泊のところ本年度は、1泊2日の実施でした。感染症対策で全市の学校が密を避けて活動するために山の家では受け入れる人数を制限しておられるため、本年度については多くの学校がこのような形で行うこととなりました。教育委員会や花背山の家の先生方と十分に相談し、安全第一で予定通りに行いました。

今回のねらいは、「自然の中での活動を通して、自然に対する感性を育み、自分に関わる人と協力する気持ちを育む。」でした。山の家での約束は、すすんでいいさつ、5分前行動、来たときよりも美しくの3つです。

普段の学校生活でも、5年生は、素敵なおいさつができる、時間も守り、教室なども大変美しく掃除し、整理整頓されています。これは山の家での行動にも表れ、さすがだなあと感心しました。まさに「正しく楽しく たくましく」。互いを思いやりながら共に作り上げる過程を大切にし、互いの安全を守りながら活動することができました。



花背の自然についてあっと驚くことがありました。暑いぐらいに快晴の中、屋外での活動が終わろうとするころ、突然、遠くの方で雷の音がしました。すぐに放送です。「雷が鳴りました。急いで建物の中に入りましょう。」山の家の先生の表情も一瞬でかわりました。パトロールカーでの巡回。さすが、5年生の皆さん行動は早かったです。すぐに担任の先生が全員いることを確認。山の天候は変わりやすく、数分後に大雨が降りました。その数時間後には天体観測の予定。この天候なら星空は見えないかと心配もしましたが、夜には雲も晴れ、大きな天体望遠鏡が何台も並ぶ観測所でいくつかの星を観るという貴重な経験もすることができました。軒先にはいくつもツバメの巣。かわいい雛の大きな口をめがけて、猛スピードで行ったり来たりする何羽もの親ツバメも互いにぶつからないよう上手によけています。彼らなりの安全飛行なのでしょうか。

2日間を通して、子どもたちの素敵な人柄にふれ、感動の連続でした。相手の人に対するおもいやりにあふれています。変わらず、そのまま大きくなってほしいと思います。また、今回は安全で無事に活動できたことが何よりでした。これも保護者の皆様のご協力があってのことです。本当にありがとうございました。

